

単元名 かずしらべ

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 物の個数について，簡単な絵や図に表したり，それらを読み取ったりできる。
 (2) 物の個数に着目し，身の回りの事柄の特徴を捉えることができる。
 (3) 身の回りの事柄に関心をもち，物の個数を簡単な絵や図に表すよさに気付き，進んで数量を整理しようとする。

標準的な展開例

01040110_001

【準備等】色鉛筆

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ばらばらに置かれた物の数を数えたり，絵グラフをかいて数の大小を比較したりする。[p. 62・p. 63]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ いちばんおいしいものはどれかかんがえよう。 ○ 果物の数を数える。</p> <p>○ 果物の数と同じ数だけ色を塗って，絵グラフに表す。</p>	<p>・ 数を数えた後に，一目で数の大小比較ができる絵グラフのよさに触れ，他教科の学習に活用させる。</p> <p>・ 数図ブロックを置いたり，数えた物に印を付いたりして工夫して数えさせる。</p> <p>・ 絵グラフに表せば，一番多いものがすぐに分かることに気付かせる。</p> <p>【評】ばらばらに置かれた物の数を数え，絵グラフに表す活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は，統計の学習の素地となる絵グラフの単元である。ばらばらに置いてある物を整理し，数えた後の表現の仕方の1つを扱う。棒グラフの学習の際に振り返る学習となる。

絵グラフのよさは，一目で数の多少比較ができることである。見た目のよさに触れ，他教科の学習に活用したり，絵グラフが出ている掲示物などを紹介し，読み取ったりするなど児童にとって身近なものとしたい。